



最優秀賞の表彰を受ける村上真さん[㊟]

2/6

秋どり作型をさらに推進

J A トマト部会

第11回通常総会を開きました。令和7年度の部会キヤッチワードを「秋どりトマトでブランド力向上2・0」に設定し、消費地からの需要が高まる9・10月の出荷量拡大に取り組み、販売金額4億6100万円を目指すことなどを確認しました。



部員に教わりながら豆腐作りを体験する児童

1/30

手作り豆腐に理解深めて
花泉小学校

3年生75人は、J A 女性部花泉中央支部産地消グループの指導で、豆腐作りを体験しました。熊谷麻樹さんは、「豆腐作りは手間がかかり、かき混ぜる工程などが難しかった。出来上がった豆腐はマメの香りがして、やりがいがあった」と話しました。

1/28

産地の知名度向上を狙う

J A いちご生産部会



最優秀賞に輝いた佐藤忠由さん[㊟]

令和7年度通常総会を開きました。県内随一の産地として消費者への周知やLINEを活用した情報共有などに取り組み、販売金額4700万円を目指すことを決めました。ウェブサイトを通じた販売やPR活動などを行います。



小林さん[㊟]の指導に聴き入る部員

2/5

野菜育てるポイント学ぶ
J A 女性部平泉中央支部

野菜作りの講習会を開きました。渡辺採種場の小林将さんを講師に迎え、小林さんが実際に育てた野菜を観察しながら野菜の品種や特徴を学んだ他、農薬を散布する際の展着剤の使い方や連作障害など、野菜作りのポイントについて指導を受けました。

2/6

盛り上がり見せた交流会

J A 女性部千厩中央支部



ファッションショーで作品を披露

食や衣をテーマにした交流会を初めて開きました。部員が考案した料理の試食や郷土料理「カニばつと」を伝承する千葉秀子さん(川崎)による講演、舞踊の披露や部員が手作りの披露やバッグなどを紹介するファッションショーを行い、盛り上がりを見せました。



優良生産者表彰の最優秀賞に輝いた島山貴一さん㊦

2/10

産地拡大への 取り組みを

J Aピーマン部会

第25回通常総会を開きました。令和6年度の販売金額は4億3933万円（計画対比101.2%）。令和7年度は、産地拡大への取り組みの他、生産技術の統一による品質向上対策、安全安心に向けた取り組みなどにより、販売金額4億4855万円を目指します。



議事進行の様子

2/13

最新技術で産地拡大図る

J Aミニトマト部会

令和7年度通常総会を開き、収量の安定確保のため新しい技術の導入に取り組み、販売金額4972万円を目指すことを決めました。役員改選では小野寺弘司さんが部会長に再任し、「最先端技術の研修などを行い、新しいことに挑戦していきたい」と話しました。

2/8

生きがいある 生活に向け

J A女性部藤沢中央支部



音楽に合わせて体操をする部員

第9回女性部交流会を開きました。レクリエーション介護士の菅原舞さん（大東）が、レクリエーションを通して、どのように生きがいのある充実した人生を送っていくかを講演し、椅子に座りながら音楽に合わせてできる健康体操に取り組みました。



菊池さん㊦の指導で体操を行う会員

2/16

健康に毎日を送るために

J Aハートフル大東支部

地域の高齢者の健康づくりの一環と会員の交流を兼ね、健康教室を開きました。菊池和男さん（大東）を講師に、頭から足の指まで、全身をほぐしながら動かすストレッチ体操を行いました。体を動かすスッキリした気分を味わい、楽しいひとときを過ごしました。

2/13

足を守って健康な生活を

J A女性部大東中央支部



フットケアの指導をする三浦さん㊦

令和6年度中央支部大会を開き、フットケア指導士の三浦和子さん（藤沢）の指導でフットケアを学びました。「第2の心臓」とも言われる足を守るため、手軽にできる足の運動やマッサージ方法、正しい爪の切り方などに部員たちは理解を深めました。

2/17

**産地の拡大発展
目指して**
JAなす生産部会

令和7年度通常総会を開き、栽培20年表彰の千葉栄子さん（花泉）をはじめ、販売実績が優秀な部会員を表彰しました。令和7年度は、栽培技術の高位平準化や産地の知名度向上を目指し、販売金額2億3500万円を目標とすることを決定しました。



拍手で議案を承認する部会員

2/19

ブランド力強化目指して
JA肥育牛部会



販売枝肉単価の部の優良表彰を受ける千葉大さん[㊟]、遠藤茂さん[㊠]

第11回通常総会を開きました。令和7年度は、飼料価格の高止まりなど厳しい環境の中、今まで以上に「1頭1頭」を適切に管理し素牛の能力を最大限発揮させるよう肥育経営に取り組み、出荷頭数600頭、販売金額7億3000万円、上物率95%を目指します。

2/20

収穫最盛期の管理を確認
JAいちご生産部会



生育を見ながら情報交換する生産者

イチゴ栽培指導会を開き、収穫最盛期を迎えたイチゴの栽培管理について確認しました。一関農業改良普及センターの小森貴大技師は「気温が高い予報のため、ハウス内の温湿度管理と草勢維持に努め、病害虫防除をしっかりと行うように」と指導しました。

2/19

今年産に向け防除暦確認
一関農業改良普及センター



防除暦の説明を聞く生産者

令和6年度新技術普及活動検討会を開きました。令和7年産リンゴの良品質生産に向け、令和6年度の病害虫発生状況を振り返り、防除暦の変更点などを確認した他、令和6年度に岩手県農業研究センターで開発された研究成果などが紹介されました。

2/17

首都圏で農畜産物をPR
一関市



商談会に参加した菅原さん[㊟]と木村さん

いちのせき食と農の商談会が東京都で開かれ、管内の農畜産物や加工品などをPRしました。JA野菜部会の菅原三千司部会長や野菜ソムリエプロの木村千恵美さんが、寒締めホウレンソウやいわて南牛肉などの試食を提供しながら商品の魅力を伝えました。